

学ぼう伝えよう

輝く 恵那人

204人目

HUMAN WATCH



大井町天王山
つげ さわ
柘植 沙羽さん (15歳)

□プロフィール
U-13・U-14JFA エリートプログラム、
U-14 ナショナルトレセン選出。チー
ムの中盤から攻撃を組み立てる「ボラ
ンチ」で活躍。趣味はギターとダンス。
中学校では美術部に所属。

夢は「なでしこジャパン」 サッカー(U-15)日本女子代表に選出

本市の中学生が、サッカー日本代表に選
ばれた。8月8日から11日まで、広島市で
開催された広島女子サッカーフェスタに、
15歳以下の日本代表として参加したのは、
恵那西中学校3年生の柘植沙羽さん。公益
財団法人日本サッカー協会(JFA)が、
将来の日本女子代表「なでしこジャパン」
を発掘するため、全国から優秀な選手を集
めて行う講習会で実力が認められた。「自
信はなかった。選ばれた時はめちゃくちゃ
驚いたけど、すぐうれしかった。家族や
周りの支えがあったから願いが叶った」と、
歓喜の瞬間を思い出す。

代表チームでは、試合の流れをコント
ロールする攻守の要、MF(ミッドフィル
ダー)として3試合全てに先発出場。自ら
も2得点を決める活躍で、チームを優勝に
導いた。「試合中は冷静に全体を見ること
を意識した。シュートやゴールにつながる
パスを思うように出せたことや、得意のヘ
ディングで得点できたことがうれしい」と、
初の代表戦を振り返る。
父兄姉はサッカー、母はフットサル経験
者というサッカー一家で育ち、物心付いた
頃にはボールを蹴っていた。小学3年生で



▲日本代表ユニフォームを着てプレーする柘植さん(中央)

市内のサッカーチームに入ると、たちまち
サッカーの楽しさにはまり、夢中でボール
を追い掛けた。しかし、6年生で男女混合
の県代表選考に落選し、初めての挫折を経
験した。他の女子選手が代表に選ばれこと
を知り落ち込んだが、その悔しさをバネに
練習に打ち込み、着実に力を付けていった。
現在は、愛知県春日井市の女子サッカー
チーム「FCフェルボールMIYOSAI」
に所属。レベルが高いくらいで、厳しい環
境に身を置き、仲間と切磋琢磨している。
将来は「なでしこジャパンの一員として、
世界の舞台で戦うことが夢。つらい時も前
を向いて頑張りたい」と目を輝かせる。来
春には女子サッカー部がある県外の高校へ
進学する予定。夢のゴールに向かって、彼
女の挑戦は続く。



出生おめでとう
(8月16日～9月15日届出分)
()は保護者

 笑顔あふれる優し い子に育ってね! パパとママの宝物 だよ♡ 宮嶋優利くん 長島町 父 直宏さん 母 郁恵さん	 柚ちゃんのかわいい 笑顔に毎日癒され てるよ♡すくすく 元気に育ってね♪ 北見柚奈ちゃん 大井町 父 幸嗣さん 母 理子さん	 1歳おめでとう♡ おしゃべりやんちゃ 大きくなあれ♡ 矢郷結子ちゃん 大井町 父 徳一朗さん 母 舞子さん	 1歳おめでとう! 我が家のかわいい お姫様♡ニコニコ 笑顔が大好き♡ 後藤あきはちゃん 山岡町 父 佑介さん 母 初美さん
 1歳おめでとう♪ お姉ちゃんたちと 元気いっぱい笑顔 で育ってね☆! 山田季永ちゃん 岩村町 父 将吾さん 母 幸恵さん	 大きな病気に負け ずスルスクと成長 してくれてありが と♡ 後藤大嘉くん 岩村町 父 直樹さん 母 理恵さん	 うた1歳おめでとう うー毎日たくさん 遊んで、元気に大 きくなろうね♡ 赤塚宇汰くん 明智町 父 寛さん 母 真理奈さん	 1歳おめでとう♡ さおちゃんのこと 大好きだよ♡ 藤井彩央梨ちゃん 長島町 父 邦浩さん 母 香奈実さん

7歳になりました

10月生まれ



11月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。①お子さん1人で写った、顔全体と胸から上が入っている写真 ②住所(町名まで) ③氏名(ふりがな) ④生年月日 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦両親の氏名(ふりがな) ⑧32字以内のコメント ⑨ケーブルテレビ放映の可否を、10月15日までに電子メール(☐info@city.ena.lg.jp)か申し込みフォームで申し込みください。土日祝を除き3日以内に掲載可否を連絡します。掲載は先着8人までです。申し込みフォーム▶



ICTで広がり つながる学びの場

長島小学校



6年生 林 虎良君

先生が、問題の答えをタブ
レット上で配布してくれるの
で、授業がスムーズに進みま
す。コロナ禍で無くなってし
まった行事なども、今後は、
タブレット上でできるような
新しい取り組みを行っていけ
たらと思います。

長島小学校では、授業の内容をより
深く理解することを目的に、各授業で
タブレットを利用して授業を
9月17日、6年生の算数の授業でも、
タブレット学習の利点を生かした授業
が行われました。問題の答えをノート
に書くと、写真を撮ってタブレットで
共有。発表する児童の解き方を画面を
見ながらじっくり聞いたり、答えが分
からない場合の参考にしたりと、多く
の考え方に触れていました。タブレッ
トを使うことで、多様な意見を理解し
尊重することをICT教育から学んで
います。

